

1JW1FFS(B)

使用帯域  
(DC~3224MHz)

1JW1FFS(B)

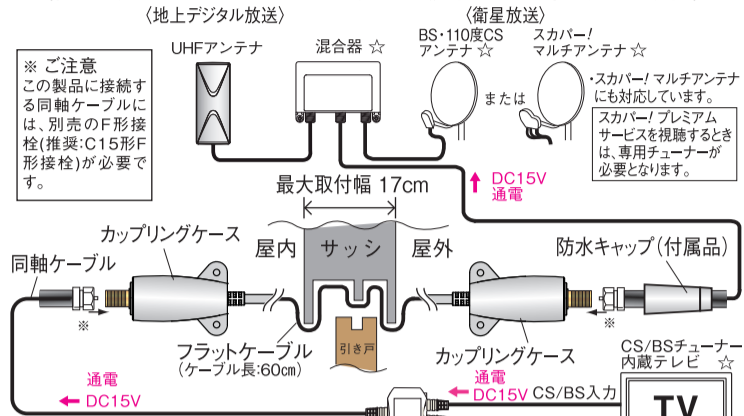
フラットケーブル

2K4K8K

詳しい取扱方法はこの台紙の内側にありますのでよく読んでご使用ください。

■使用例

〈衛星放送と地上デジタル放送を混合して引き込む場合〉



すべての放送(2K・4K・8K)を見るためには、3224MHz ☆ に対応した同軸ケーブルや☆印の機器が必要です。

通電容量: DC15V・0.5A以下または、AC30V・0.8A以下

規格及び仕様は改良により予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

2K4K8K 2K・4K・8K放送対応マークは、BS・110度CS 2K・4K・8K放送(3224MHz)に対応した機器であることを示します。

高シールド 高シールドマークは、携帯電話や各種無線サービスなどの電波干渉を抑制するため、厳しい社内基準を基にシールド性を高めた製品であることを示します。

土壌汚染・大気汚染など環境に影響を与える物質や人体に悪影響を及ぼす物質を使用しない事など厳しい自社基準をクリアした製品にECCOマークを表示しています。

〈付属品〉

- 木ネジ(3×14)……4本
  - 防水キャップ……1個
- ・両面テープは本体(カップリングケース)に貼付けて出荷しています。



注)長時間、車内等高温になる場所に放置しないでください。

・1JW1FFS(B)の末尾“(B)”は包装形態を示しています。製品本体の表示は“1JW1FFS”です。

カスタマーセンター 0120-941-542

(受付時間 9:30~17:00 夏季・年末年始休業は除く) 携帯電話・PHS一部のみ利用できない場合 03-4530-8079

ホームページアドレス <http://www.dxantenna.co.jp/>

お昼時間も土・日・祝日もご利用ください!

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号

MADE IN CHINA



混入防止62番

DXアンテナ

未来へ、環境負荷ゼロへ ECO

2K4K8K

現行の2Kハイビジョン放送にも対応しています。

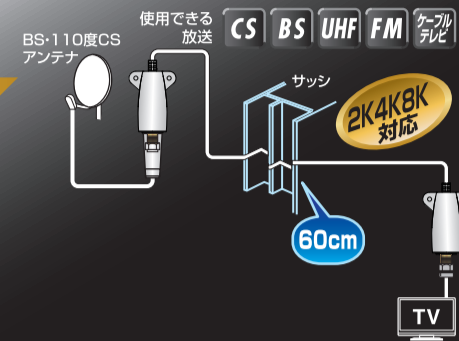
高シールド

屋外用 通電仕様

サッシ戸から屋内に引き込むケーブル

フラットケーブル

1JW1FFS(B)



取扱い方法  
1JW1FFS(B)

■安全上のご注意

警告 ●途中には通電形以外の機器を挿入しないこと。また、同軸ケーブルの接続などで心線と編組が接触したり、ケーブルを傷つけないこと。火災や感電や破損の原因となります。

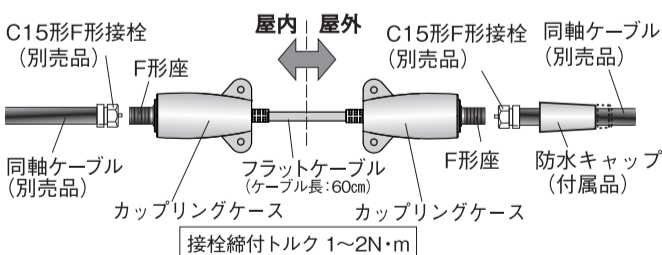
●異常が生じたら、接続している製品の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜くこと。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

●雷が鳴り出したら、手を触れないこと。感電の原因となります。

注意 ●ベンジン・アルコール、シンナーなどは使用しないこと。溶けたり、変質することがあります。

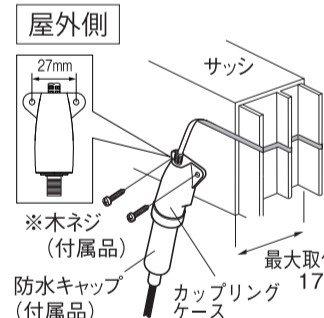


■各部の名称と説明



- 図のようにカップリングケースのF形座に同軸ケーブルのC15形F形接栓を接続してください。
- 防水キャップ(付属品)は、フラットケーブルの屋外側に使用してください。ケーブルの太さに合わせてカットし、同軸ケーブルにF形接栓を取り付ける前にケーブルに通しておいてください。
- 接栓は、接続ナットを1~2N・mで締め付けてください。(2N・mを超えると破損する場合があります)
- 4K・8Kを伝送する場合、4K・8Kに対応した機器・低損失の同軸ケーブルをご使用ください。

■取り付け方法



カップリングケースの裏側にある両面テープと木ネジ(付属品)で取り付けができます。フラットケーブルは幅が広い面を浮かさないようにサッシに沿わせ、必ず手でまげて取りつけてください。固定が必要な場合は、市販のテープで固定してください。

両面テープは仮止めを目的としていますので、木ネジ(付属品)と併用してください。

※ドライバーを使用して、しっかりと取り付けください。注)サッシに取り付ける場合、できる限り開閉しない側に取り付けてください。フラットケーブルの断線、特性劣化の原因となります。

■取り付け上のご注意

- 屋外・屋内側いずれも、カップリングケースに力が加わらないように同軸ケーブルを確実に固定してください。
- この製品の取り付け、配線時には、CS/BSチューナー内蔵テレビなどの機器は必ず電源を切った状態で取り付け、配線を行ってください。故障の原因となることがあります。
- この製品の設置は、できるだけ雨などがかからない場所に行ってください。屋外側のカップリングケースと同軸ケーブルの接続部には、必ず防水キャップ(付属品)を奥までしっかりと差し込んで使用してください。防水キャップにはビニルテープを巻かないでください。雨水がたまって故障の原因となります。
- 屋内側、屋外側のカップリングケースはF形座が下向きになるように取り付けてください。
- 両面テープは、接着面の汚れ、湿気を必ず取り除き、乾いた平らな面にカップリングケースを貼り付けてください。
- フラットケーブルは、下図のように横方向に曲げたり、ねじったりしないでください。断線、特性劣化の原因となります。

